

東京都知事
小池百合子 殿



令7都高P連第11-11号

令和7年11月11日



東京都公立高等学校PTA連合会

会長 笹原良太

要望書

今年も要望の機会を設けていただけていること感謝いたしております。
都の教育行政におかれましても、都立高校における教育施策に力を尽くしておられますことに感謝申し上げます。

私どもも様々なPTA的アップデートを行いながら、全国高等学校PTA連合会大会2027東京大会に向け準備を進めている最中です。

引き続き生徒一人一人の幸せを考えながら、より良い教育環境の実現について多くの方々や場面とつながり合い、協働するPTA連合会としての役目をはたしてまいります。

要望①

トイレ環境改善予算の確保

築年数が経過した都立高校ではトイレの環境改善を求める声も多く寄せられています。
特に夏場は臭気が強くなりトイレ使用を我慢したり控える生徒もいるようです。
これは各高校が清掃を怠っているということではなく、日々清掃する程度では解消できないほどに老朽化しているため改修や大規模な清掃が必要というレベルであり、生徒にとって日々のストレスとなっています。

また、だれでもトイレ以外でのシャワートイレを求める声もあり、少しでも増やしていただきたいと思います。

トイレの老朽化具合は学校によって異なりますので例えば「老朽化した学校のトイレは清潔かつ衛生的になるように改修」、「新しい学校のトイレにはシャワートイレの設置」など、トイレ環境改善のための予算の確保を要望いたします。

都立高校のトイレ環境をアップデートし、心理的な負担を軽減して気持ちよく学校生活をおくれるようにしていただきたいという想いです。



要望②

学校設備、施設改修予算の底上げ

老朽化した学校設備と施設の改修を望む声が多くの保護者から寄られています。ここでいう老朽化とは施設の見た目の老朽化、怪我につながる可能性のある老朽化、古く調子が悪い機器など多岐にわたります。例えば、めくれた床、天井や壁の経年劣化、半壊した什器、調子の悪い映像および音響機器、暗い照明、古い防災器具 etc...で、これらの不便や不安、ストレス要因を解決する予算が少なく、スピード感にも欠けていると感じています。

話は少し変わりまして昨今の都立高校離れには、私立高校授業料の実質無償化における影響もあるとは思いますが、実際に受験生の保護者、生徒の生の声として、私立と都立の校内や設備のキレイさを天秤にかけ私立高校を選んだという声も少なくありません。

私立高校の良さ、都立高校の良さを極力見た目のバイアスなく選択できるようにしていただき、しっかりと都立高校の素晴らしいところを知っていただくことを私たちは強く望んでいます。

生徒がストレスなく学べる環境つくりと、都立高校をより魅力的にしていくための施設の改修、設備の買い替えにおける予算の底上げを要望いたします。

また一人一人の生徒が学校施設を大切にキレイに使用するように心がけさせることも私たち保護者の役割だと考えています。

要望③

熱中症対策予算の継続

昨年度は熱中症対策における特別予算を計上していただき、各都立高校において熱中症対策における物資の購入をすることが出来ました。ありがとうございました。

しかしながら、今年の夏も記録的な暑さとなり、複数の高校 PTA より熱中症対策費の継続を望む声があがっています。来年度のさらなる猛暑に対応し、生徒にとって安全で快適な教育環境実現のため、熱中症対策予算の継続を要望いたします。

以上、3つの要望を東京都公立高等学校 PTA 連合会を代表してお願い申し上げます。ご検討のほど何卒、宜しくお願い致します。